

# 第2次沖縄縄県社会福祉協議会21プランの4年次評価結果の概要

## はじめに

本会では、「第2次沖縄縄県社会福祉協議会21プラン」の推進や評価、見直し等の進行管理（期間・平成22年度までの5年間）を行うため、総合企画委員会とワーキング・グループ（事務局で構成）を設置し、毎年度の評価を実施している。今年度、4年次評価結果の概要は次のとおり。

## 評価方法

評価は、従来と同様に、各担当部署での自己評価をワーキング・グループで検討し、その評価結果を総合企画委員会へ提案、協議し、総合評価を行った。

本プランの体系は、「県社協の活動強化」と「県社協の経営基盤強化」の2区分に大きく分かれ、基本目標（11項目）、活動目標（34項目）、実施計画（120項目）で構成されている。（実施計画項目が3年次より4件減少しているのは、毎年度の見直し等によるものである。）

実施計画項目毎の個別自己評価は、A B Cの三段階方式で評価している。

## 評価結果（概要）

4年次の評価内容（区分・割合）は、A評価の件数が61件（50・8％）で、3年次より1件減り、B評価は56件（46・7％）で、1件減っているが、3年と4年次の比較では殆ど差はない。

5年次はB評価を減らし、A評価を増やすような取り組みを強化する必要がある。C評価は3件（2・5％）で、3年次より2件減っているが、C評価の要因を明らかにして取り組みを強化していく必要がある。

なお、評価の推移（3年次と比較）を見ると、A評価を維持した件数は47件（40・5％）、B評価の持続は40件（34・5％）、C評価の持続は2件（1・7％）となっている。BからAに上昇したのが14件（12・1％）、CからBに上昇したのが4件（3・45％）、AからBへの下降が8件（6・9％）、AからCへの下降が1件（0・9％）となっている。

Aを継続したのが9件増え、CからBへの上昇が4件増えたことは評価できるが、BからAへの上昇が6

基本目標別の4年次評価結果概要

基本目標	実施計画項目ごとの評価の割合（％）		
	A	B	C
1 市町村社協との連携強化と支援の充実 (実施計画項目：14件)	50.0	42.9	7.1
2 県民参加による福祉社会の形成 (実施計画項目：10件)	80.0	20.0	0.0
3 社会福祉施設・団体への支援 (実施計画項目：37件)	27.0	70.3	2.7
4 社会福祉事業従事者の資質の向上と研修事業の推進 (実施計画項目：10件)	70.0	30.0	0.0
5 県民への福祉サービス事業の推進 (実施計画項目：21件)	61.9	38.1	0.0
6 利用者の立場に立った福祉基盤づくり (実施計画項目：11件)	63.6	27.3	9.1
7 企画・情報機能の強化 (実施計画項目：5件)	60.0	40.0	0.0
県社協の活動強化			
1 経営体制の充実強化 (実施計画項目：4件)	50.0	50.0	0.0
2 財政基盤の強化 (実施計画項目：4件)	75.0	25.0	0.0
3 事務局体制の強化 (実施計画項目：3件)	0.0	100.0	0.0
県社協の経営基盤強化			
4 県総合福祉センター機能への対応 (実施計画項目：1件)	0.0	100.0	0.0

### ※評価基準（A B C）説明

- A：目標がほぼ達成できた。
- B：一応の成果を上げた。
- C：取組みがほとんど出来なかった。

件減ったことやAからBへの下降が3件増えていることに対しては取り組みの強化が求められる。

「県社協の活動強化」及び「県社協の経営基盤強化」の基本目標ごとにまとめた評価結果の概要については、本会のホームページに詳細を掲載。

<http://www.okishakyo.or.jp/>

担当／総務企画部

TEL：098-887-2000